

感染症が発生したら

～集団発生時対応のポイント～高齢関連施設編



磯子区役所 福祉保健課 健康づくり係

令和6年10月25日

I 集団発生時の対応のポイント

II 各論

- ① ノロウイルス
- ② 結核
- ③ インフルエンザ・コロナウイルス

III 報告時の流れ

I なぜ集団発生時の対応が必要なのか？

- ⚠ 病原体や感染経路の特性上、集団生活の中でまん延しやすい。また、保育園、高齢者施設、病院などは、重症化しやすい人の集団である。
- ⚠ いち早く、施設管理者が適切な対応を理解し、職員が適切に実行しなければ、感染がさらに拡大してしまう。
- ⚠ 調理従事者が感染したり、調理施設内が汚染させた場合、食中毒の発生につながりかねない。
- ⚠ 食品を介した感染（食中毒）が疑われる場合、食中毒調査対応を速やかに行う必要がある。

それ以上感染を拡げないために…

- 患者が感染した感染源をブロック
- 患者からの二次感染をブロック
- 患者と同時に感染しているかもしれない人、
又はすでに二次感染しているかもしれない人を
把握して、そこからの感染拡大をブロック
- 小さな集団からの感染規模拡大をブロック など

報告基準

- 1 同一の感染症もしくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間に2名以上発生した場合
- 2 同一の感染症もしくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合
- 3 1及び2に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

厚生労働省 「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」

I 集団発生時の対応のポイント

II 各論

① ノロウイルス

② 結核

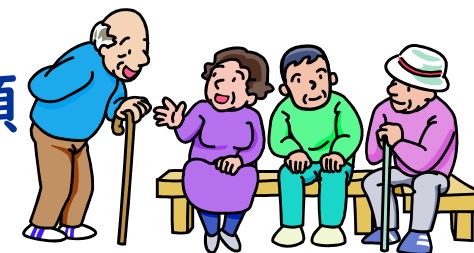
③ インフルエンザ・コロナウイルス

III 報告時の流れ

① ノロウイルス



- 協力医療機関の医師への連絡
- 入所者家族への連絡
 - 発生状況を説明し、健康調査や二次感染予防について協力を依頼
 - 面会者も手洗いを徹底、
 - 下痢・嘔吐などの症状がある場合には面会を遠慮してもらう
- **下痢や嘔吐**などの症状がある人が**複数出た場合**には、早めに福祉保健センターにご相談を！



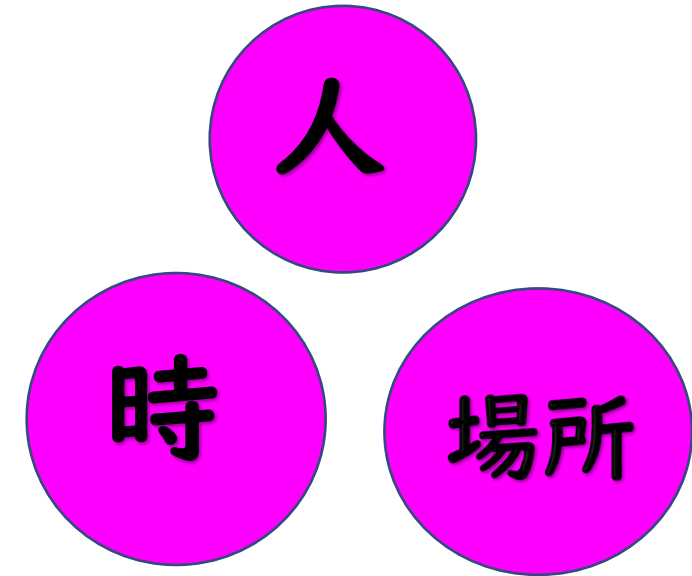
ノロウイルスが発生したら…

【施設全体の状況確認】

- ・入所者および職員の発症日時・症状を
棟・フロア・ユニットごとに把握する
- ・受診状況、診断名、検査結果、治療内容
を確認する

以上をまとめ、施設管理者に連絡する

新たな発症者や**重篤化した入所者**がいれば、
その都度施設管理者に連絡する



ノロウイルスが発生したら…

- 1～2週間程度の入所者・職員の健康調査
- 食事や給食の内容
- 施設の平面図、推移表での状況把握
- 嘔吐の時間や場所などエピソード、集団活動の実施^{など}



➡ 福祉保健センターが調査訪問をして確認

感染拡大を防ぐためのポイント①

推移表（ラインリスト）

※磯子区感染症HPに原本あり

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q							
1	感染症情報シート					報告日→	10月1日				施設名→	(例)磯子ホーム												
2						先頭のマスに日付を入力すると、1ヶ月分の日付と曜日が自動で入力されます。				新規有 症状者														
3													2											
4	No	名前	性別	フロア	検体	受診日・受診先	発症日	本人の状況	備考	日	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7							
5		年齢		部屋番号		結果	エピソード	(ADL)	(その他の 症状など)	曜日	火	水	木	金	土	日	月							
6	1	〇〇 口男	男	309		ウイルス性胃腸炎	食堂で嘔吐	おむつ使用		発熱														
7		79歳								嘔吐	●新規	○継続	○継続											
8										下痢		○継続	○継続											
9										他			腹痛	入院										
10	2	〇〇 口子	女	401	■クリニック	ウイルス性胃腸炎		認知症	腹痛	発熱		●新規												
11		81歳								嘔吐														
12										下痢			○継続											
13										他	●新規		腹痛											
14	3	△△ 和〇	女	309		ノロウイルス	居室で嘔吐	おむつ使用		発熱														
15		72歳								嘔吐			●新規	○継続	○継続									
16										下痢			●新規	○継続										
17										他														
18	4	□〇 -〇								発熱			●新規											
19										嘔吐														

ポイントは
発症日

元々何かしらの症状が出ており、その症状とは別で新しく症状がでた場合は、「○継続」の扱いとしてください。

その他に症状に関する「●新規」と記載した場合、前の備考に記載してください。

ポイントは
発症日

元々何かしらの症状が出ており、その症状とは別で新しく症状がでた場合は、「○継続」の扱いとしてください。

その他に症状に関する「●新規」と記載した場合、前の備考に記載してください。

感染拡大を防ぐためのポイント②

マッピング



感染拡大を防ぐためのポイント③

手洗いの徹底

・適切な汚物処理・消毒の実施

- ①身の回りのものの清潔・消毒
- ②汚物がついたりネン類の消毒
- ③おむつ交換・入浴時の対応



二次感染の防止が最大の目標です！

おぼえておこう! 正しい手の洗い方

手洗いの前に



- ・爪は普段から短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石鹸をつけてしっかり泡立て、手のひらをよくこすります。



両手の甲をのばすようにこすります。



指先、爪の間も念入りにこすります。
(ブラシを使うとなお良い)



両手の股をこすり合わせ、
指の間を洗います。



親指を付け根から指先まで、
念入りにねじり洗います。



手首を忘れないで洗います。
最後に流水で洗い流しましょう。



石鹸で洗い、十分に流水で洗い流すまで、30秒程度かけて行いましょう。
清潔なタオルやペーパータオルでよくふき取って乾かします。

手洗いでできないときは、アルコール手指消毒薬で消毒をしましょう。

- ★ **30 秒以上**かけて洗ってください。
- ★ **2回**繰り返すのがより効果的です。
- ★ 石けんを **よく泡立てて**、こすりつけるように洗う
- ★ **腕時計を外して**洗います

感染拡大を防ぐためのポイント④

手袋の着脱

着脱の前後に手指衛生を！ 手袋をつけっぱなしにしない！



汚物等処理セットの準備を



ノロセット

- ・塩素系漂白剤
(次亜塩素酸ナトリウム)
- *誤飲のないよう配置場所には注意が必要です
- ・使い捨てマスク・手袋・エプロン
- ・ビニール袋
- ・ペーパータオル、新聞紙など
- ・希釈用器具 (ペットボトル・バケツ)
- ・手洗い用石けん

日ごろからの準備が大切です！

職員間の場所の共有も忘れずに。

汚物処理・消毒のポイント

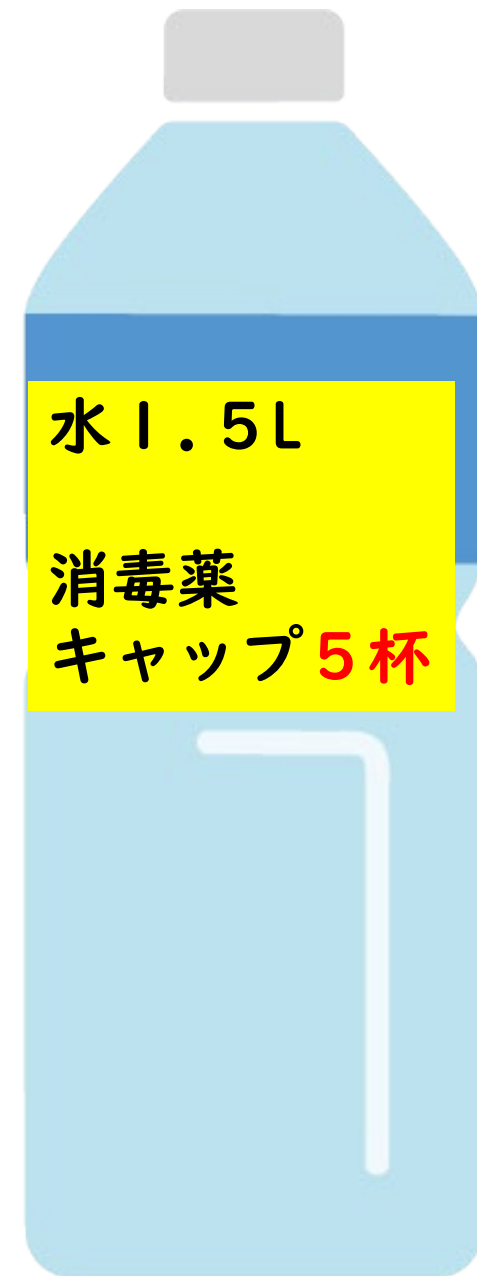
		希釈液濃度			
		0.02%(200ppm)		0.1%(1000ppm)	
		希釈方法		希釈方法	
原液濃度	1%	50倍	水1L+原液20mL	10倍	水1L+原液110mL
	5%	250倍	水1L+原液4mL	50倍	水1L+原液20mL
	6%	300倍	水1L+原液3.3mL	60倍	水1L+原液17mL
使用場所		器具等のつけ置き、ドアノブ、手すり等		便や吐物が付着した床やおむつ等	

※市販の塩素系消毒剤は5～6%が多い

いつも同じ商品を使うなら、
誰でも分かる作り方を明示

あらかじめ希釈する方法を
書いておきましょう

作り置きはしない。
日に当てないこと



拡大防止消毒ポイント 『トイレ』

手すりなど
人の手が触れる所

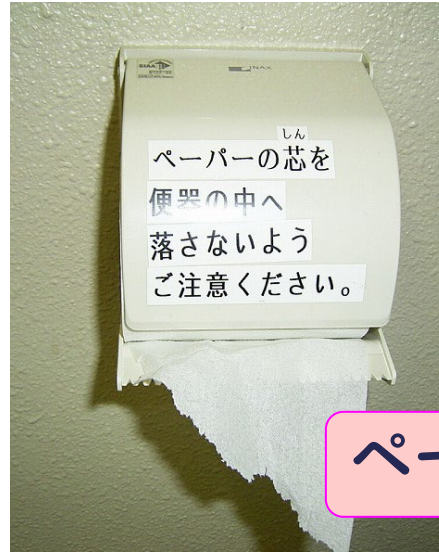
便座、便器周囲
便器周辺の床



拡大防止消毒ポイント 『トイレ』 『人が触れるところ』



スイッチ類



ペーパーホルダー



ドアノブ



水道蛇口



水洗ノブ

換気の実施（とても有効です）



ウイルスが外に出て行くように、
空気の流れを作りましょう。

I 集団発生時の対応のポイント

II 各論

① ノロウイルス

② 結核

③ インフルエンザ・コロナウイルス

III 報告時の流れ

②結核 が発生したら…

〈接触者健診の実施〉

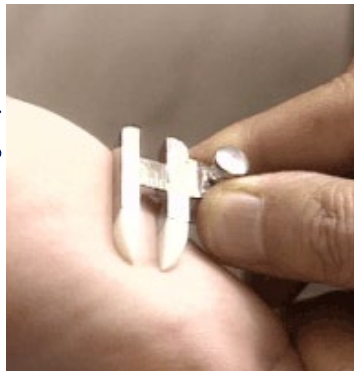
- ・患者の感染力と接触状況などから福祉保健センターが検討
→いつ、どこで、どれくらいの時間？
どのような接点だったか？など

★入院？外来？菌検査結果によって異なります。
慌てずに…

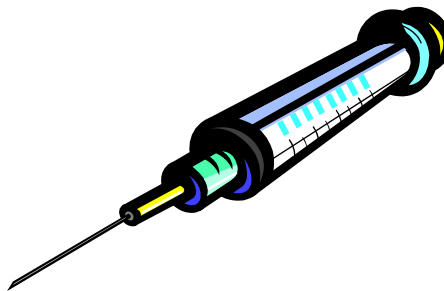


感染 または 発病 していないか 調べる検査

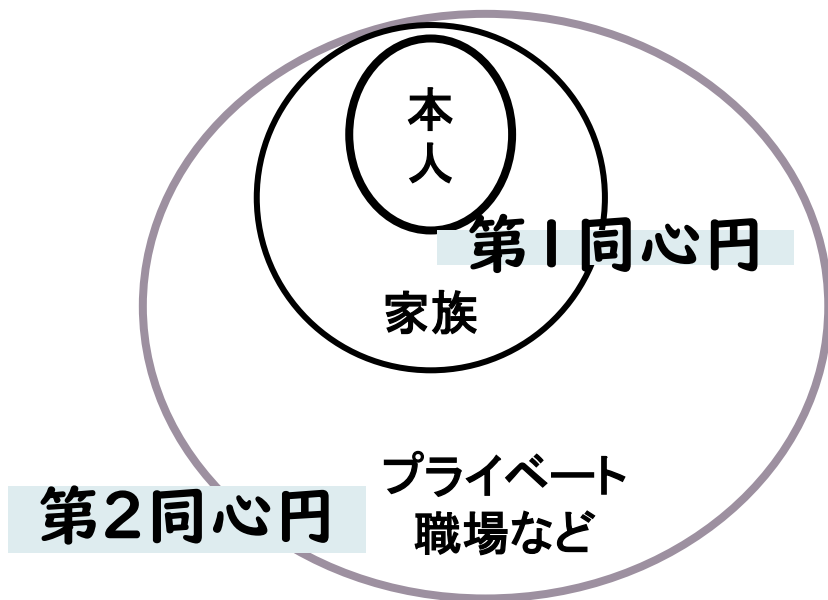
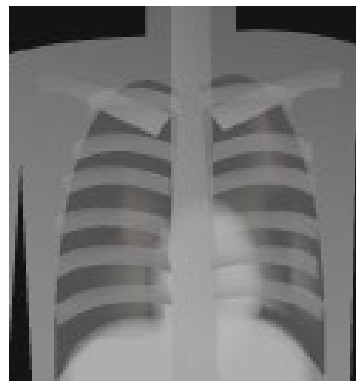
- ツベルクリン反応検査



- T-spot検査



- 胸部X線検査



発病がわかったら



薬を飲めば
治ります

- 複数の薬を組み合わせ
(耐性菌予防)
- 1日1回
- 半年から1年間内服

DOTS(服薬確認)
ドッツ

I 集団発生時の対応のポイント

II 各論

① ノロウイルス

② 結核

③ インフルエンザ・コロナウイルス

III 報告時の流れ

③インフルエンザ・コロナウイルス



- **感染拡大経路の遮断**：施設内で多くの人が集まる場所での活動の一時停止等を検討
- **コホーティング**：多床室～可能な限り個室で療養、職員の配置固定
同室者にマスク着用、手洗い等の徹底など
- **予防投与（インフル）**：できるだけ早期から開始が望ましいとされる。
同時期の発症者数や接触状況をふまえて感染拡大防止に有効である場合があり、主治医や施設医に相談
- **手洗い、咳エチケット、消毒**：アルコール70%以上の濃度、
加熱（75～100℃）、塩素系消毒薬
- **外部からの感染対策**：外出自粛、面会制限、サービス制限、利用者や家族への説明、職員の健康管理

I 集団発生時の対応のポイント

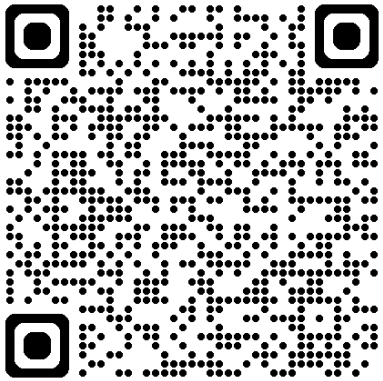
II 各論

- ① ノロウイルス
- ② 結核
- ③ インフルエンザ・コロナウイルス

III 報告時の流れ

磯子区ホームページ 【施設向け】感染症の集団発生時の報告について

https://www.city.yokohama.lg.jp/isogo/kenko-iryo-fukushi/kenko_iryo/yobosesshu/shuudannhassei.html



【施設向け】感染症の集団発生時の報告について

横浜市磯子区

横浜市トップ | Language | 読み上げ

防災・防犯 | 暮らし・手続き | 子育て・教育 | **健康・医療・福祉** | 窓口・施設

現在位置 [横浜市トップページ](#) > [磯子区トップページ](#) > [健康・医療・福祉](#) > [健康・医療](#) > [予防接種・感染症](#) > [【施設向け】感染症の集団発生時の報告について](#)

【施設向け】感染症の集団発生時の報告について

施設などで感染症の集団感染が発生した場合には、診断を確定し、適切な治療を行うとともに、感染経路を調べ、感染拡大を防ぐに十分留意するとともに、感染症の発生があった場合は、ページ下の[報告先](#)をご確認の上、報告様式により報告をお願いします。

1. 発生時のフローチャート

集団発生報告フローチャート

～感染症かもしれない！！と思ったら～

- ①同一の感染症で死亡者又は重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合
- ②同一の感染症で、10名以上または全利用者の半数以上発生した場合

集団発生報告フローチャート

～感染症かもしれない！！と思ったら～

報告基準

- ①同一の感染症で死亡者又は重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合
- ②同一の感染症で、10名以上または全利用者の半数以上発生した場合
- ③及び②に該当しない場合であっても、**通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合**

連絡

磯子区健康づくり係 感染症対策担当へ連絡をお願いします。
(診断名がついていないものでも全く構いません。お早めに相談ください。)

TEL : 045-750-2445

すぐに作成できない場合は、まずは電話でご連絡をお願いいたします。

報告

- ①**感染症ラインリスト（感染症推移表）**
(①には個人情報が含まれるためパスワードをかけてください。)
- ②**施設見取り図**
(②は施設パンフレットや簡単な手書きのもので構いません。)

上記2点をメール (is-teiki@city.yokohama.jp) で提出をお願いします。

聞き取り

提出していただいた資料を基に、以下の内容を確認します。(例)

- ①いつからですか？
- ②発生場所はどこですか？
- ③何人発生していますか？
- ④どのような症状ですか？
- ⑤症状がある方は受診をしていますか？どのような診断を受けていますか？
- ⑥重症な方・お亡くなりになられた方はいますか？
- ⑦感染症の発生に伴い、どのような対応をしていますか？(消毒方法など)
- ⑧感染対策で困っていることや確認したいことはありますか？

その後

磯子区健康づくり係で終息の確認をいたします。終息の確認が取れるまでは原則毎日、ラインリストを更新し、メールで提出をお願いします。

【連絡先】

磯子区福祉保健課健康づくり係

TEL : 045-750-2445

FAX : 045-750-2547

(FAXはメールが送れない場合などに使用してください。)

Mail : is-teiki@city.yokohama.jp

区福祉保健センターとの連携

感染症が発生したら・・・

- 施設の図面
- ユニット見取り図
- イベント一覧
- 推移表
- 献立表

感染拡大を防ぐためにどのように考え、
対策を取っていくのかを区福祉保健セ
ンターと一緒に検討

メールまたはFAX・調査訪問時、
御対応お願いします。

最初の電話で確認すること(具体的には)

□施設の概要

- ①入居者数、フロア・ユニット数、職員数など
- ②職員の勤務体系など(日勤・夜勤の職種、人数など)

□発生状況

- ①発症時期 ②主な症状 ③発症者数 ④発症場所(発生した部屋など)

□発症者の病状など

- ①発症者の症状(嘔吐、吐き気、下痢、発熱など)
- ②受診状況(受診日時、診断名、治療内容)、重症者の有無

□発症3日前くらいからのエピソードの有無

→イベント等の行事、食事関連のエピソード 等

□施設での対応状況 例) 面会制限、リハビリ制限、外出制限、家族等への説明 交流を減らす工夫、職員同士が交差しない工夫点など

施設内での共有に活用を

■ 嘔吐物処理方法の動画

「保土ヶ谷区 吐物処理」や「東京都 吐物処理」などで検索



保土ヶ谷 吐物処理



■ ノロウイルス、インフルエンザのパンフレットの配布

※枚数に限りがありますので、ご希望の枚数をご用意できない場合があります。

■ 手洗いチェッカーの貸出し

(要予約:健康づくり係 750-2445)

